

学生の意見，アイデアを取り入れた授業方法の 改善に関する研究 その1

—— 解決志向アプローチの質問方法を用いて ——

相 模 健 人

(臨床心理学研究室)

(平成14年10月17日受理)

A study of an improvement in the teaching methods. First report.
— Utilizing Solution-Focused-Approach for obtaining the student's opinions
and their ideas —

Takehito SAGAMI

I. 問 題

筆者は本年4月から愛媛大学教育学部の講師として勤める者である。当然，授業を担当することになるが，筆者はそれまで専門学校の非常勤講師の経験くらいしかない。筆者に学生が満足できる授業ができるかどうか甚だ不安であった。

またこれに加えて，近年FD (Faculty Development) の関心が高まっている。各大学において個々の教員の教育内容・方法の改善のために組織的な研究・研修を行うことが求められている。また田中・森谷他 (1997)⁽⁵⁾，佐藤・内田 (2001)⁽⁴⁾，山下・徳永・藤枝 (2001)⁽⁶⁾などこれまで様々な授業研究も行われてきている。

このような状況の中で筆者の講師としての責任は重大なものである。しかし筆者にはこれまでカウンセラーとしての経験があり，その経験を授業に生かすことができるのではないかと考えた。筆者のカウンセラーとしての専門領域はBerg, de Shazerらが創始した解決志向アプローチ (Solution-Focused-Approach) である⁽¹⁾。解決志向アプローチでよく用いられる質問法の一つにスケーリングクエスチョン (Scaling Question) がある。

スケーリングクエスチョンとは「1があなたが最初にここ (カウンセリング) にこられたとき，10がもう一人で何とかやっていけるときとすると，今はいくつですか？」というように「クライアントの観察，印象，予測などを1から10の尺度に置き換える」質問である⁽¹⁾。このスケーリングクエスチョンにはその対応として2種類の質問法がある。一方は「1から答えた

数の間はどんなことがあったから、ここまでよくなったのでしょうか？」とクライアントの持っている資源を探る質問であり、他方は「今より少しよくなって1上がったとしたらどんなことが違って来るのでしょうか？」とクライアントの目標を尋ねる質問である。ここで資源とは森(1998)⁽²⁾によると「内的にも外的にもクライアントが『持っているもの』のことである」と定義されている。スケーリングクエスチョンを用いることにより、クライアントの資源や到達可能な目標を引き出すことができるのである。

本研究ではこのスケーリングクエスチョンを学生に授業評価、改善のための方法として導入し、授業研究を行ってみた。

Ⅱ. 目 的

愛媛大学教育学部の教職科目 A 必修授業「教育相談論」の授業において、前述のスケーリングクエスチョンを用いた学生の授業評価を行い、学生の意見を取り入れた授業方法改善の過程を検討し、大学におけるよりよい授業のあり方について考察する。

Ⅲ. 方 法

1. 授業について

- ①授業名：教育相談論
- ②授業時間：毎週木曜1時限（午前8時30分～10時）
- ③授業期間：4月18日～7月18日（計14回）
- ④受講登録者数：129名（内院生2名）
- ⑤講義教室：教育学部大講義室
- ⑥授業内容：授業内容は筆者のスクールカウンセラーとしての経験を生かし、システムズアプローチを用いたスクールカウンセリングを主に取り扱った。授業形式は講義形式で行い、前半はスクールカウンセラー制度やカウンセリング理論などの理論的内容、後半は筆者の経験した事例を用いた実践的内容を取り扱った。事例提示については希望する学生に実演してもらい、相模・田中(2000)⁽³⁾が考案した「コラボレーション面接記録法」を用いて筆者が解説を加えた。授業はマイク、ビデオ、OHPといった視聴覚機材を必要に応じて用いた。具体的な内容は以下ようになる（括弧内は用いた視聴覚機材やその回で用いた教材。マイクは毎回用いたため省略）。

授業内容

- | | | |
|-----|-------|--|
| 第1回 | 4月18日 | ガイダンス |
| 第2回 | 4月25日 | スクールカウンセリングについて その1
ーアメリカにおけるスクールカウンセリングの歴史 |
| 第3回 | 5月2日 | スクールカウンセリングについて その2
ー日本におけるスクールカウンセリングの現状 |
| 第4回 | 5月9日 | スクールカウンセリングについて その3 |

- 第5回 5月16日 システムズアプローチについて その1
－スクールカウンセリングの実際（相談室の写真を回覧）
－システムズアプローチの説明（ビデオ使用）
- 第6回 5月23日 システムズアプローチについて その2
－解決志向アプローチの説明
- 第7回 5月30日 事例Ⅰ いじめ 事例Ⅱ 不登校 その1
－学生に事例を実演（OHP 使用）
- 第8回 6月6日 事例Ⅱ 不登校 その2
－学生に事例を実演（OHP 使用）
- 第9回 6月13日 事例Ⅲ 問題行動
－学生に事例を実演（OHP 使用）
- 第10回 6月20日 事例Ⅳ 不登校 その1
－学生に事例を実演（OHP 使用，学生の感想，質問をプリントで配布）
- 第11回 6月27日 事例Ⅳ 不登校 その2
－学生に事例を実演，レポート提示（OHP 使用，学生の感想，質問をプリントで配布）
- 第12回 7月4日 事例Ⅴ 相談室登校 その1
－学生に事例を実演（OHP 使用，学生の感想，質問をプリントで配布）
- 第13回 7月11日 事例Ⅴ 相談室登校 その2
－学生に事例を実演（OHP 使用，学生の感想，質問をプリントで配布）
- 第14回 7月18日 教師の対応について
－受講している現職教員（大学院生）にインタビュー形式で教師の対応を尋ねる。

2. 授業評価について

各授業時間の終わりに「授業評価シート」（資料1参照）を配り，学生に授業評価を行ってもらった。「授業評価シート」は出席，遅刻票の役割をかねており，学生に記入することを義務付けた。ゆえに記名式である。ただし出席，遅刻の別以外は学生の成績評価には全く使用していない。

「授業評価シート」は3つの質問で構成されている。質問1は「今日の授業は1を『わからない』，10を『わかりやすい』とするといくつでしたか？数字で教えてください」であり，数値で答えてもらった。毎回の平均を出し，次回の講義で発表している。質問2は「今日の授業はどんなところがよかったから，質問1の答えの数になったと思いますか？」，質問3は「来週の授業で少しよくなって，質問1の答えより1上がったとしたらどんな授業になっていると思いますか？」であり，学生に自由に記述してもらった。その他に学生の要望に答えて第3回講義より質問欄を別にもうけて，次回，質問に答える形式にしている。

また最終回の第14回講義は「最終授業評価シート」（資料2参照）を配り，学生に授業全体の授業評価を行ってもらった。

「最終授業評価シート」は5つの質問で構成されている。質問1は「この授業全体を1を『分かりにくい，難しかった』，10を『分かりやすい，理解できた』とするといくつになるで

しょうか?」であり、数値で答えてもらった。質問2は「質問1の答えになった理由をお書きください(賛否含めます)」であり、これに関しては「授業評価シート」と異なり、批判も積極的に書く形とした。質問3「あなたが同級生、後輩にこの授業を薦めるとしたらどんなことを言って薦めますか?」、質問4「あなたが同級生、後輩にこの授業を薦めないとしたらどんなことを言って薦めませんか?」、質問5「あなたが相模(授業者)だったとして、この授業を学生にとって今よりも必要な授業とするためにどんなことを具体的にしますか?できるだけたくさんお書きください。」については自由記述とした。またその他として学生に自由に意見を記述してもらった。

3. 結果の処理

「授業評価シート」の質問1(「最終授業評価シート」を含める)については、毎時間の平均を出し一要因の分散分析を行い、下位検定としてt検定を行った。

「授業評価シート」の質問2, 3及び、「最終授業評価シート」の質問2~5に関しては筆者が代表的意見をまとめ、結果に記した。

表1 「授業評価シート」質問1の結果

講義回数	平均	標準偏差	出席者数
第2回	6.22	1.64	115
第3回	6.74	1.36	106
第4回	7.04	1.45	104
第5回	7.81	1.13	95
第6回	7.16	1.37	101
第7回	7.09	1.61	101
第8回	7.16	1.45	101
第9回	7.56	1.51	96
第10回	8.01	1.10	86
第11回	8.09	1.16	106
第12回	7.57	1.39	104
第13回	7.86	1.19	100
第14回	8.06	1.48	103
最終評価	7.36	1.15	103

IV. 結果

1. 授業評価の量的分析

表1に「授業評価シート」の質問1の結果を示す。各回の出席者の増減は学生の都合による欠席に加え、教育実習、介護実習等によるものもある。グラフにした図1を見ると、平均得点が回を追うごとにだだに上昇していていることが理解できる。このことについて一要因の分散分析を行ったところ、0.1%水準

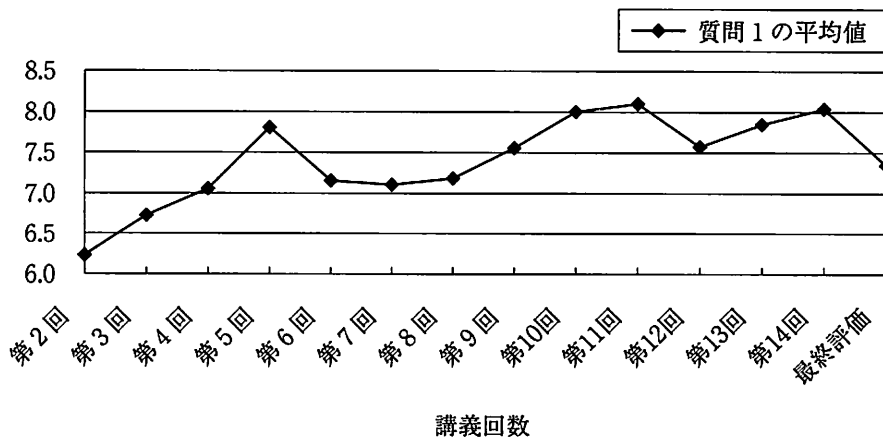


図1 「授業評価シート」質問1の結果

で優位差が見られた(表2参照)。さらにt検定を行ったところ、第13回講義と第14回が10%水準で、第3回と第4回、第12回と第13回が5%水準で、第2回と第3回が1%水準で、第4回と第5回、第5回と第6回、第8回と第9回、第11回と第12回、第14回と最終評価が0.1%水準で優位差が見られた(表3参照)。

2. 学生の意見

以下に筆者がまとめた学生の意見を各講義、質問ごとにまとめて記す。学生の意見は言葉づかいなどできる限り原文のまま表記している。括弧内は意見を述べた学生の質問1の答えである。授業内で筆者が授業方法の改善のため、意見を取り入れたものや実現不可能であったものには矢印をして筆者の対応を記している。考察の都合、各意見に番号を振っている。

第2回 平成14年4月25日

質問2

2-2-1: 黒板に多く書いてくれた(6)

2-2-2: ていねいに分かるように話すように努めていることが伝わってきたから(7)

2-2-3: 書くことが多すぎて内容がよく分かりませんでした(3) → 板書を減らす

2-2-4: 話があまり脱線しなかったもので、ずっと集中して聞いていられたから。板書が少し多めなので、大切なところが分かりやすい(10)

2-2-5: 学生に対する気遣い。一方的な感じがして大変よかった(5)

質問3

2-3-1: 黒板を消すときに、あまり消しますよと言わなくても大丈夫だと思います(7) → 次週よりやめる

2-3-2: 何かしらの資料等プリントがあったら良いかも? 何もしない授業でも分かるので良いのですが(7) → 次回よりプリント配布

2-3-3: 遅刻してくる人に合わせなくてもいいのですが... 講義がところどころで中断されてしまう感じがするので... (5) → こちらの戦略もあり、意図的に行った

2-3-4: 板書後話す時もう少しゆっくりしゃべって下さい(6) → 心がける

2-3-5: 遅刻者の入室を許可しない。黒板に文章をガラガラ書かず、重要な単語のみを大きく濃く自信を持って書き、十分な説明の時間を取る。ノートは生徒がまとめるモノなので、まとめられていなくて関連性が理解しにくく展開の意図が不明で生徒にとって結局分からない授

表2 一要因分散分析の結果

変動因	SS	df	MS	F	
講義回数	73.63	1	73.63	51.91	***

***P≤.01

表3 t検定の結果

	t値	自由度	
第2回 - 第3回	-2.96	100	***
第3回 - 第4回	-2.47	92	**
第4回 - 第5回	-5.84	84	****
第5回 - 第6回	4.93	80	****
第6回 - 第7回	1.07	82	
第7回 - 第8回	-1.19	84	
第8回 - 第9回	-3.48	83	****
第9回 - 第10回	-1.01	71	
第10回 - 第11回	-1.49	77	
第11回 - 第12回	3.98	92	****
第12回 - 第13回	-2.23	88	**
第13回 - 第14回	-1.70	87	*
第14回 - 最終評価	4.58	102	****

*P≤.10, **P≤.05,

P≤.01, *P≤.001

業展開ではない授業。ノートをまとめることでなくその内容を伝えるための授業（1）

2-3-6：質問とか指摘はこういう感想に書かせて次の時答えるようにするのもいいのではないのでしょうか？（8）→次週より「授業評価シート」に質問・感想欄を作る

第3回 平成14年5月2日

質問2

3-2-1：「授業評価シート」を一人一人に手渡しで配ってくれたので足りなくて混乱することもなくて安心して受け取られた。又、それぞれも項目を設けており、プリントと連動して授業が進められたので分かり易かった（7）

3-2-2：黒板の書き方が先週よりよかったと思います。先週は次のことを書くときに、自分で、接続詞的なものを多くかいたけど、今日は話の流れがわかりやすかったと思います（6）

3-2-3：前回の反省が生かされていた（板書を消すとき、書くスピードほか）（7）

3-2-4：自分は前回の意見を書いた人と逆に板書を多く書くことには賛成である。ただし、もっと体系化をきちんとしてほしい（6）

3-2-5：専門的なことを分かりやすい言葉で、簡潔に答えてくれていると思います。あと、前の授業の生徒からの要望にすぐ応えてくれる姿勢も有難いです（7）

質問3

3-3-1：いつか授業で行われるのかもしれませんが、私たちが教師になったら何が必要なのか、今の子どもたちが実際どのようなものなのか、そういうことの方をしっかりと勉強したいです（5）→講義後半の事例などでとりあげた

3-3-2：誤字があった→次週訂正

3-3-3：授業形態が一方向的なので例えば学生が考える時間を作ったりすれば良いと思う（6）→事例のところで設ける

3-3-4：内容が濃いのであまりいっぱい授業されると板書が少なくても疲れてしまいます。できたら考慮してもらえませんか？→授業内容をよりシンプルに心がける

3-3-5：黒板は先週より見やすくなったんですが話が変わるところなど、小見出しみたいのをつけてくれるともっとわかりやすいと思います（8）→つけてみる

3-3-6：生徒の言うことにあまり左右されず、授業を行ったらいいと思います（7）

第4回 平成14年5月9日

質問2

4-2-1：実際に使用していた資料が配布されたので、ただ机上の空論ではなく、実践編を実物大で感じることができ、分かり易かった。理論だけでなく現場でどのようにカウンセリングしているのかを知ることができ、実態をよく理解できたから（7）

4-2-2：写真を利用したところ。教室の雰囲気が伝わってきてよかったです（7）

4-2-3：実体験に基づく話は聞いていて楽しい。教科書だけを活用するような授業ではないから興味もてます。写真もよかったです（8）

4-2-4：今までの感想というか生徒の要望に対してのうけこたえをしていたところ。この「授業評価シート」を先生が読んでくれているところがよく分かりました（8）

4-2-5:最初の授業より全然よくなった気がする(8)

質問3

4-3-1:板書をもっとして欲しかった。口頭での説明が多く、しかも急ぎ足口調だったので、ついて行くのが大変だった。2ヶ所程度、メモし損なった所もあり、残念であった。もう少しゆっくり話して欲しかった。あと写真が回らなかったのが残念だった(8)→板書を増やす。より授業内容を減らすよう努力する。写真については次週もう一度回覧した

4-3-2:マイクの使える授業(6)→マイクトラブル

4-3-3:話と話の間に少し間をおいて話している授業(8)→心がける

4-3-4:もう少し板書があれば…私は板書派でプリントを読むようになると眠くなってしまうため(6)→板書を減らすと居眠りをする学生が増えることが推測される

4-3-5:声の調子を強めたり弱めたりして皆の意識を引きつける(7)→心がける

第5回 平成14年5月16日

質問2

5-2-1:VTR教材の導入。しかもただ見せるだけではなく、きちんとした分析も含んでいた為分かりやすかったから。それと時間をきちんと守ってくれるのがうれしいです(9.5)

5-2-2:内容が今までで一番興味が持てたし、とても重要な事を砕いて分かりやすく説明して下さったところが良かった。あと、ビデオがおもしろかった(9)

5-2-3:ビデオが面白くて分かりやすかったです。それを解説したところも面白い…それから具体例が今日は分かりやすかったので、良かったと思います。1時間半が早かった!!(7)

(下線は学生によるもの)

5-2-4:先生が生徒の質問事項をいつも念頭において授業していただけるのはありがたいです。先生は大変だと思いますが…(8)

5-2-5:(感想として)その都度良い授業になってきていると感じます。やはり先生が生徒の意見を聞き入れる謙虚な姿勢で授業に臨んでくれているからだだと思います。私も教師を目指す者としてその姿勢を見習いたいです(8)

質問3

5-3-1:プリントをほぼ使わなかった気がするのですが…配るなら両方使ってほしいと思いました(7)→時間切れのため、授業が資料を使うところまでいかなかった

5-3-2:先生のやりたいようにやって、あたしらの心に何かを植えつけられるようになっている(7)

5-3-3:最後時間が来てしまい来週に持ち込みとなってしまったので、時間配分に気を付けてやることで区切りのいい授業になっているであろう。ビデオは暗幕を閉めるべき(8)→暗幕は閉めるようにする

5-3-4:…今日みたいな授業が続けばよいかも…?(7)

5-3-5:質問に答えてくれるのは有難いが可能な内容であれば授業の中で「そういえばこんな質問もありました…」という風に内容と絡めて答えてくれることを希望する(8)

5-3-6:生徒からの質問にひとつひとつ答えて、時間を費やすのではなく、いくつかピック

アップしたものだけを取りあげて答えて、主体の授業の今日の内容につなげる。あまり生徒の意見にいちいち左右されず自分の確立したものを持ち続ける（そうすれば先生のやり方に自然に生徒はなじむ）（7）

第6回 平成14年5月23日

質問2

6-2-1：なんとなく今日聴き上手になろうと思った（7）

6-2-2：今まで何度か授業を受けていたけれどどこことなく、私にはカウンセリングが遠いところにあるような気がしていました。でも、実際どんな方法を使って問題解決していくのかを聞いていると私でも真似できるような方法もあり、身近なものに感じる事ができたため（8）

6-2-3：興味をもってきくことができました。知りたいようなことを知れたのが良かったです（9）

6-2-4：実際に意見を授業にはんえいさせようとしているのがうかがえたのだから（7）

6-2-5：具体的にどうすればいいかが細かくプリントにかかれていて想像しやすかった（8）

質問3

6-3-1：途中で時間がないせいか、方法の説明が口頭だけになってしまって書くのが追いつけなかったので、もう少し大切なことを書いてほしい（8）

6-3-2：重要なところを強調すればよいと思います。最後に今日の授業のポイントをもう一度まとめとして言うてはどうでしょうか。（7）→まとめをつけるようにする

6-3-3：少し質問に答える時間を長くとりすぎなのでそれを改善すれば良くなると思う（6）→短くする

6-3-4：予告していた OHP を使う。私が遅刻をしない（7）

6-3-5：板書の少ない授業、ノートに書いている時は話に集中できないのでしんどい（6）

6-3-6：事例をもっと増やして説明する（6）→次週より事例を取り扱う

第7回 平成14年5月30日

質問2

7-2-1：今までの説明が今日の事例で分かりやすくなったように思います。学生の人達の発表によって、自分が読むよりも臨場感があって良かったと思います。それから現役中学校の先生の意見はとても納得できたし、貴重な意見だと思いました（8）

7-2-2：事例から…あなたが担任ならどうしますか？と考えさせたところ（6）

7-2-3：先生が学生にインタビューしてまわったところが良かったと思います（9）

7-2-4：回りの友達と話し合う時間があったこと（8）

7-2-5：生徒も一緒になって授業を作っているという感じがすごく良かった（7）

質問3

7-3-1：もっと楽しめるような授業にしてほしい。具体例が出てくるということで楽しみにしていたが何か違う感じがする（よく分からんけど）。何かもう少し積極的に活動できたらいいと思う（5）

7-3-2：最初に「途中であなたが先生だったらどうしますか？」という質問をするということ伝えていたらもっと話に関心，注意が向いたのではないかと思います（8）→質問自体をその場で思いついたため出来なかった。次週より取り入れて行う。

7-3-3：劇は一列に並ぶだけでなく，向かい合うなどすると実際がよりわかりやすいと思います（5）→そうする

7-3-4：現場の先生の声をもっと聞きたい（5）

7-3-5：マイクが全員使えることができれば（7）→マイクトラブル

7-3-6：学生に担任の立場になったらどのように声をかけるかを質問した後にそれについての先生のコメントを聞きたい（6）→できるものにはコメントを付けていくようにする

第8回 平成14年6月6日

質問2

8-2-1：遅刻者が減っていますね。よいことだと思います（4）

8-2-2：一つ一つの説明が長く丁寧でした。理解の困難なものはない（6）

8-2-3：前は気づきませんでした，色分けされた OHP シートはとても見やすく分かりやすいなと思いました。手元にあるもの（プリントのこと）で字は見えるので，前に映っている字は見えなくても良いと思いました。また途中の解説もプリントだけでは分かりにくいところもサポートしてくれていて良かったと思います（9）

8-2-4：発表が前回よりも分かりやすかったです。こっちも感情移入しそうでした（7）

8-2-5：「授業評価シート」の要望に答えた授業をしてくれたこと（9）

質問3

8-3-1：カーテンを閉めたり，いろいろすることがもうちょっとスムーズにできれば良いと思います→解説の度にカーテンを開け閉めしたので必然的にバタバタとしてしまった。解説のタイミングを再度考慮

8-3-2：皆がより興味をもって講義に臨むことができるようになっている（ノートなどを取る機会を増やせば寝ている人を少しは減らせるのではないのでしょうか？）（7）

8-3-3：事例を効果的に使う…各々で読むようにしたり，重要な部分をピックアップして詳しく説明したり，質問を生徒に上げさせ答えることに時間を使う（5）→「授業評価シート」で行う

8-3-4：もっとノートに書き込めるような授業がやりたいな…と思った（6）→必要などころは板書しているが，原則的に実演，OHPによる説明（OHPのスクリーンを下げた場合と黒板が使えない）なので板書が必然的に少なくなった。

8-3-5：授業の流れがスムーズになっている（移動など）（8）→授業構成を再考する

8-3-6：来週も今週と同じく事例を取り上げるということなのですが，誰がしゃべっていることなのかもう少し分かりやすくなると思います（6）→最初の紹介をしっかり行って

もらった

第9回 平成14年6月13日

質問2

9-2-1：話が淡々とつづくのではなく、事例の実演や話し合い発表、解説が行われて流れが良かったと思います（9）

9-2-2：笑いがとれた＝興味をもってくれた。ということなので嬉しかったです。その他はみんなプリントの方読んでましたけど…（7）（実演した学生の感想）

9-2-3：自分が集中できていた（10）

9-2-4：途中からで正直あまりわかりません（5）（遅刻している）

9-2-5：質問をして考えさせて、実際に当てるというのもこれだけの授業であったにもかかわらず、先生と学生のキョリがとても近く感じられて良かった。名簿であてるのではなく、実際に出向いてあてたのが良かった（8）

質問3

9-3-1：先生が5分程時間を与えてあてていくというのがあったけれど、もう少し時間がほしかったです（5）→次回考える時間を10分にしてみる

9-3-2：重要な部分やポイントになるところは強調してもらえると良いと思います。授業の最後にまとめとして一言あるとその日のポイントが明確になります（9）→OHPシートで継続する

9-3-3：前で発表しているとき、虫退治の方法が全然見えませんでした。発表の人達と逆に座っていたので。見たかったのに少し残念です（7）→次回より黒板前の中央で行う

9-3-4：ラスト20～30分くらいとってその事例を解決に関する意見とか自分だったらどうするとか他の考えなど、真っ白の紙とかに書くというのもいいと思う。これだけたくさんの方がいるから、みんなの意見も気になります。次の授業でその意見を印刷するとか（6）→「授業評価シート」に書いてある事例に関する感想、質問を次週よりプリントにして配布

9-3-5：マイクを持って聞いて回るのなくてもよいと思う（7）→賛否両論

9-3-6：カウンセリングの実例は本当やってほしかったのでうれしく思っています。今後ぜひやってほしいことは“教育相談論”でカウンセラーとしてでなく、教師としてたった時、どのようなことができるのか、どのようなことをしていけばいいのか教えてほしいです（7）→最後の授業で現役中学校教師との対談を企画

第10回 平成14年6月20日

質問2

10-2-1：前回の事例の質問や感想に触れていて、前回の事例の理解度が深まった。事例が興味深かった。前回よりも長そうなのですんなりとは解決しないものかなと想像した（8）

10-2-2：前回、前での発表が見えなくて残念だった、と書いたら今回はよく見えたのでうれしかったです（9）

10-2-3：先週の事例の反応がプリントしてあって、先週の内容をよく思い出せたから（フィードバック??）（8）

10-2-4：自分の問題ですが今日は眠くならず，授業を集中して聞けたからだと思います（8）

10-2-5：質問や感想をプリントしていただけたのは良かったです。みんなで考える時間はちょうど良かったです（7）

質問3

10-3-1：解説の時間をもう少しとってもらいたいです。事例の中の質問の意図，変化の意味など詳しく聞きたいです（9）→心がける

10-3-2：話し合いにかける時間が短かった。問題に対する答えが今までに比べて難しかったので，もう少し時間が欲しかった（7）→長くしたのであるが…

10-3-3：プリントの感想は全部読まなくていいと思う（8）→次週より質問のみに答え，感想は各自で読むように指示する

10-3-4：意見を聞いてまわるのをやめる（8）→次の事例ではやめてみた

10-3-5：最初の方に比べたらかなり良くなったんじゃないかと思う（8）

10-3-6：大講義室では OHP の字が小さいとちょっと見えにくいので，字が大きく見えやすくなっていれば，目，耳ともに充実した授業になると思います（7）→課題である

第11回 平成14年6月27日

質問2

11-2-1：最初が前回の授業の感想，質問と事例の時間配分のバランスがとても良くスムーズな展開だったから（9）

11-2-2：前回と同様に先週の反応プリントがあり，皆の考えを知ることができて良かった。発表も良かったと思う（9）

11-2-3：レポートのはやめに提示。質問に対する簡潔かついねいなこたえ（7）

11-2-4：なんか全てが頭にすっと入ってきたから。先生の補足，生徒の発表ともによかった（10）

11-2-5：学生の身分で人の講義を評価するのはなんだか“いいのかな～？”という気になるがでも初めの頃に比べかなり授業の進め方はよくなったと思う（9）

質問3

11-3-1：資料がもう少し分かりやすい物になって，授業できちんと活用できる。あと，クーラー!!（7）→クーラーは次週よりいれてもらう

11-3-2：大講義室内の環境，窓の開閉，カーテンによる日差し止め等（9）→カーテンは学生のリクエストにより閉める

11-3-3：もっと担任の教師がどう関わってくるかが知りたい。スクールカウンセラーとはかなり違ってくると思うから（8）→最後の授業で現役中学校教師との対談を企画

11-3-4：一方的に聞く授業になりがち（それでも十分良い授業だとは思いますが）なので，「一緒に授業を作っている」という感じが持てれば，と思います…。やはり生徒の発言なども求めた方がいいのかもしれませんが（9）→この回は事例後半のため，質問が浮かばなかった

11-3-5：スクリーンを下げた状態での板書はスクリーンの左右に同じものを書いてくれる先

生が多いです→次週よりそうする

11-3-6：今回ぐらい自分がかんばること (10)

第12回 平成14年7月4日

質問2

12-2-1：レポートに関する（前回の質問）応答（8）

12-2-2：大学の講義を受けているのだとひしひしとを感じるので（7）

12-2-3：やってもらう内容がそんなに多くなく、そのあとすぐに説明をつけて下さったので分かりやすかった。クーラー最高!!環境大事っす（9）

12-2-4：プリントの多様化。多くのツールでの授業。テンポが違うとそのたびに新鮮に授業進行がされている（9）

12-2-5：ウノをしに出ただけだけど実際自分が前に出て友達のやりとりを聞いているとただ話をきくだけよりよくわかった気がします。楽しかったです（発表をした学生の感想）(10)

質問3

12-3-1：もうこのやり方も定着してきているので、マンネリ化を防ぐことが大切だと思います。今日のように変わった事例を出すのはいいと思います（8）

12-3-2：マイクの音がもう少し大きかったらよかったです（7）→マイクトラブル

12-3-3：授業中に普通に（教室を）抜けたり入ったりする人を注意するなりなんなりして、教室の雰囲気勉強しているというようにすればいいと思います。今日は、特に目につきました（8）

12-3-4：プリントがあらかじめ手本に用意されていると皆プリントばかりに注目してしまい、せっかく前でいい劇をしてくれているのに顔をあげて劇をしっかり見ることができてないように思います。プリントを配るときをもう少し工夫するといいかもしれません（8）

12-3-5：私自身に関してですが…遅刻せずに、ちゃんと最初から講義を聞けるようにする。遅刻しそうになったり、遅刻したりというのが自分でも嫌なのですがこれがなかなかおらない…（8）

12-3-6：私自身が能動的に考えることができる授業（8）

第13回 平成14年7月11日

質問2

13-2-1：今何をしているかがよくわかり、授業に集中できました。事例についての説明もわかりやすかったです（10）

13-2-2：プリントを忘れていたので劇があって助かった（8）

13-2-3：感想集を読んでいたら自分の気付かなかったことがわかってよかったと思った。質問のフィードバックはかなり重要だと思う（7）

13-2-4：先生の言ったことをプリントにメモしたりして、自分なりに授業を工夫したから充実していた（10）

13-2-5：毎回感想のプリントを見ていると皆意欲的だなと思う。様々な鋭い視点で物事をとらえており、大学ってこんなにマジメな所だったのか〜と改めて思った（9）

質問3

13-3-1: マイクが聞こえにくいです。せっかくいい実演をしてくれているのにもったいないです (8) →マイクトラブル

13-3-2: 充分だと思います (10)

13-3-3: 現場の教師の対応が聞きたい (8) →次回の授業で現役中学校教師との対談を企画

13-3-4: 毎回同じことの繰り返しの様な感じがするので次回はそろそろ終わりだし、総合的な、まとめたなことをする授業 (7)

13-3-5: 発表の方々の今までの頑張りに拍手! です。また、先生が私たちの質問に対し真摯に答えて下さるのは有難いです。教員を目指す自分にとっても、カウンセラーの方々がとる行動は参考になるなと感じます (8)

13-3-6: 現場の先生の話が私たちの心に届くような、または考え方が培われるような授業であれば教師になろうとする私たちにとってすごく身になることだと思うので、1以上上がると思います (8)

第14回目 平成14年7月18日

質問2

14-2-1: 今日は対話形式でとてもよかったです。中学校の先生の本音が聞けたし、不登校に生徒がなった時にお母さんが生徒にどのように、どのくらいの頻度で接したらよいか少しわかりました。それと先生個人の人柄というか“人はしゃべらせたら分かる”と言いますが、優しさがしゃべる時ににじみ出っていて、性格としてうらやましいくらいだなあ、とも思いました。今日は非常によかったです (10)

14-2-2: 対談という形式の講義を受けたのははじめてだったので、とても新鮮でおもしろかったし、参考になったと思います (10)

14-2-3: 相模先生が現場の先生の話を整理していて話が理解しやすかった。プロの話のきき方、整理の仕方をのぞけた感じで、少し勉強になった (7)

14-2-4: 中学校の先生に色々現場の様子を伺うことができ、質問もできたので「生きている授業」という感じがしました。最後の授業に相応しいものだったと言えるのではないのでしょうか。また、現場の先生が、あんなに忙しいのに不登校の子どもにきちんと対応していることが分かり、頼もしく思いました。家庭(親)との連携も、大変そうだと思いますが、子どものために働ける教師になりたいです (9)

14-2-5: 実際に先生に来ていただいて実体験を聞き、すごく身近な話を聞いた。講師のような先生ではなく、身近な先生の話なので、とてもすんなり頭に入った。やはり不登校などの問題は大変だと改めて感じた (7)

質問3

14-3-1: 話す内容をまとめていてほしかった (6) →一応打ちあわせはしたのだが簡単なものであった

14-3-2: もっと低人数でこのような形式の授業をしたかった(無理だろうが) (7) →筆者もそう思う

14-3-3: 私たちに「来週の現場の先生が来るから」と言ったり、「質問の時間をとるから、

考えておいて」とか、それこそ、どのような形態で講義をすすめるかアイデアをつのつてもよかつたのでは？単調になってあまり興味が持てなかつた（遅刻しとってこんなことをゆってすみません）→今後の課題

14-3-4：・自分が遅刻した。・緊張して質問できなかつた（7）

14-3-5：考えると口惜しくなるので（8）

14-3-6：せっかくこの講義のために、わざわざ先生が来て下さっていたのに、寝ている人が多くて本当に失礼な態度だなあとと思った。まずこういうあたりまえの礼儀みたいなことを私たちは身につけるべきだと思った（8）

最終評価

質問2

L-2-1：毎回毎回「良いこと」ばかり書くのは少ししんどかつたです…。特に最後の方の実例の時は内容的には良かつたのですが、毎回同じような感じだったので「授業評価シート」に書くことがあまりなくて困りました（7）

L-2-2：事例が多かつたり、相談室の写真を見せてくださったりと私たちの知りたいことを分かってきている、という感じがしました。マイクのトラブルがあつたので分かりにくいところがありましたが、先生側の伝えたいことがよくわかる授業だつたと思います。一方的に話すだけの先生よりずっとよかつたです（8）

L-2-3：最初の授業とは「別物」の授業になつていると感じるから。分かりやすさもかなりアップしたと思う。学生側の授業の感想を編集してくれたこともあつて、授業のフィードバックも可能であつたし、それに対する先生の新たな補足などもあり、学びが深まつたと思う。また、私たちの質問や要求に謙虚に答えてくれたことにすごく感謝したい。「分かりやすい」授業を先生と学生で作っていったように思う（8）

L-2-4：よくもわるくもないです。先生の熱意が伝わってはきましたが、自分だけの一人歩きのように思えたところがあつた（5）

L-2-5：この講義は「前で話している場所」と「僕たちが座っている場所」との間に壁があつたような、そんな感じがする。世界が違うといった感じで、クラス全体として一体感が薄かつたように思う。でも、カウンセリングについては細かく（劇をしたり、現場の先生）よく分かつて、実感が持てる内容だつた（6）

L-2-6：今までの授業で一番わかりやすかつたです。黒板のまとめ方と授業のすすめ具合がとてもうまくて、あとでノートを見直したただけでもためになりました。賛否両論ありましたが、黒板の字数はあれくらいがちょうどいいです（居眠りを増やさないためにも）。本当なら10ですが、事例のところで単調になりすぎたので9です（9）

質問3

L-3-1：いろんな話聞けるし、学校の先生になるときの心がまえができる授業だよ（8）

L-3-2：具体例（実例）がある。生（現場）の声が聞ける。レポート課題（仮想）が興味深いものである（7）

L-3-3：・臨床についての興味が深まる・事例を劇のように取りあつかうのでおもしろい。前回の感想と質問を先生が毎回丁寧に答えてくれる（7）

L-3-4:もし本当に教員を目指すのであれば、今の学校状態では不登校、いじめ問題など避けては通れない。またスクールカウンセラーも必要とされてきており、その職業の内容についても詳しく知っておいて損はないと思う。それらのことから、教育の場について詳しく知ることができる…というようなことを言う(7)

L-3-5:生徒があきないように工夫している努力がみられているいい授業。生徒のニーズもうける(10)

L-3-6:「生徒も前に立って授業に貢献できるよ」「現場の先生の話がきけるよ」「事例が実際のことだから現実的だよ」(8)

質問4

L-4-1:自分からする活動がやはり少ないので、サボろうと思ったらサボれてしまう。例えば寝たり、代返を頼んだりして、結局意味がなくなってしまう。それなら取らない方がいい(8)

L-4-2:「1限目だよ」…(本音)(8)

L-4-3:マイクや板書といった物理的な面で問題が多い、と言うと思います(8)

L-4-4:遅刻者に対する先生の対応があまいです。もっと厳しくすべきでしょう(7)

L-4-5:自分が知りたいと思っていることとは少しずれているかもしれない(7)

L-4-6:単調だから刺激がなくて寝そうになる。寝たら授業に出てきた意味がない。どうせ寝るなら家のふとんで(7)

質問5

L-5-1:学生にやらせる活動をもっと多くしてはどうでしょう。そこで双方向性が取り入れられると思うのですが(8)

L-5-2:2クラスか3クラスに分けて人数をへらしめます(先生の時間は無視しています)。もっと狭い部屋に移動します。円くなって座るとかして、生徒からしゃべりやすい環境で…(8)

L-5-3:事例を出してきたときに感想文に自分だったらどうするかということを書かせて、次の週に何人かの意見をプリントして、先生がコメントしていく(10)→レポートで行った

L-5-4:できればもう少し少人数のクラスにして、事例の劇を全員の生徒にしてもらって、カウンセリングをしている場の雰囲気やそこにいる人の気持ちを体験を通して考えさえる。寝てしまう生徒をつくらないように休憩をはさんで、少し体を動かせるなどしてより意欲的に取り組むようにさせる(8)

L-5-5:感想集をつくってくれていましたが、あれは学生にはとてもうれしいものです。自分の考えと他人の考えを比べたり疑問を解消できたり。何より先生からのフィードバックです(私たちの意見への)。あの感想集をもう少しよみやすく(とっつきやすく)するとか、感想集への先生からの意見をふやしたいです。難しいかもしれませんが、カウンセラーの立場にも先生の立場にも同じくらいの割合で立って考えられるようにもしたいです。カウンセラーの立場だけが目立っていて、教師のことが少なかったので…(8)

L-5-6:ディベートをして、カウンセリングについて話し合う グループ分け→あるテーマについてどうカウンセリングしていったらいいか→その実態と結果を提供し自分たちのやり方

との比較、問題点→教師（カウンセラー）の活動を通しての経験、検証（5）

L-5-7：みんなそれぞれ考える事はあると思うので、それを表に出す作業をさせたいと思います。授業の最後の紙に書く質問や感想ではなく、自分の言葉で考えを発言する場を設けたいです。大人数で非常に困難ですが例えばグループ分けしてみるとか（7）

その他余白に書いてあったこと

L-6-1：この授業を自分自身も甘く受けていたと思います。実際、将来的にこういう部分が大切になってくるのに、今さら言っても遅いですがそう思いました（7）

L-6-2：どのように問題・悩みを抱えた子どもに接していけばよいかだんだん分かってきた。このことを応用して、自分の将来にも役立てていきたい（9）

L-6-3：よい方へよい方へと考える考え方、原因を追究するばかりでなく、現在を見て、今より少しでも現実がよくなるようにとする見方など、今までの考え方とは全く違ったものが知れ、考え直させられる部分がありました。また、教師になった時など実際に役立ちそうなことが多かったよかったです。不登校の子どもにもいろんな人がいると思うし、ただ甘えているのでは、弱いのでは…とったりしましたが、実際に知っているわけではないし、他の人のことを本当には分かりません。いろんな人がいると思うし、だから、そういうことが重要なんじゃないかと、今ある現実を少しでもよくすることが大切なことなのかなと思いました。まだまだ分からないことはたくさんあるので、いろいろ知って考えていきたいです（8）

L-6-4：毎回毎回の生徒のよい意見悪い意見を含め受け入れ、次の授業に生かしてくれて本当に大変だったと思います。お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。私はこの授業内容にすごく興味があったので、おもしろかったです。事例の役もやらせて頂いてありがとうございました（7）

L-6-5：他の授業では、実際の先生の体験を聞ける機会がないので今日はとても貴重であった。もっとももっとこういう機会をふやしてほしいです。先生の授業は、私に様々なことを与え、考えさせてくれたように思います。とても参考になりました（7）

L-6-6：この授業は他の授業と形式が違うので、とても興味深く意欲的、関心を持ち、授業にとり組むことができた（8）

V. 考 察

1. 授業評価の方法について

まずこの授業評価の方法が有効であったかについて検討したい。筆者の姿勢としては結果の2. 学生の意見を見ても分かるようにできるだけ学生の意見を取り入れる形で授業を行ったつもりである。学生の意見を取り入れることによって、よりよい授業かつ学生の動機付けを高めることができるのではないかと考えた。

表1～3における授業評価の量的分析の結果を見ると、学生の評価が徐々に上がっていることが分かる。分散分析でも有意差が見られ、下位検定として、t検定を行うと、9組で有意差が見られ、そのうちの6組は前回よりも評価が上がっている。

学生の意見を見ても質問2において回を進む毎に授業がよくなっていると評価しているものも見られ（結果の2. 学生の意見の4-2-5, 5-3-4, 10-3-5, 11-2-5, L-2-2, L-

2-3, L-2-6 参照。以下括弧内の番号は学生の意見を指す), その中でもこの授業評価の方法によって授業がよくなっていると評価するものが多く見られた(3-2-2, 3-2-3, 3-2-5, 4-2-4, 5-2-4, 5-2-5, 6-2-4, 8-2-5, L-6-4)。授業後半には本授業を高く評価するものもいくつか見られた(12-2-2, 13-2-5, 13-3-2, 13-3-5, L-3-5, L-6-1, L-6-2, L-6-3, L-6-5, L-6-6)。これらの結果からこのような授業方法の改善を行うことにより学生の授業評価が上がっていったと考える。

また, 筆者の意図としては授業方法の改善として「授業評価シート」を用いたのであるが, 思いのほか学生の授業評価のポイントが学生自身に向かっているものも少なくなかった(6-3-4, 8-3-2, 9-2-3, 10-2-4, 11-3-6, 12-3-5, 13-2-4, 14-3-4, 14-3-5, 14-3-6)。

もちろんこのような授業方法の改善について疑問を呈して, 学生の意見に左右されないように, といった意見も見られたが(3-3-6, 5-3-2, 5-3-6, L-2-1), 以上のような結果からよりよい授業を行うために本研究の授業評価の方法は有効であると考えられる。

2. 学生が授業を評価するポイントについて

では学生は筆者の授業のどのような点を評価しているのでしょうか。「授業評価シート」の質問2の回答を主に探っていきたい。筆者の姿勢としては学生から評価されているところは継続, 拡大していく方向で授業を続けた。

授業初期から学生が評価してきたことは筆者の説明の分かりやすさであった(2-2-2, 8-2-2, 12-2-1) 学生の質問をできるだけたくさん取り上げ, 丁寧に答えたことも同様である(5-2-4, 10-2-1)。また授業評価をはじめとした筆者の姿勢も評価された(2-2-5)。プリント等資料と連動した授業展開も評価されたようである(3-2-1, 4-2-1, 6-2-5)。授業初期はこのような評価によって質問1の平均得点が徐々にではあるが上がっている(表1~3参照)。

とりわけ評価が高かった第5回のVTR教材の導入であった(5-2-1, 5-2-2, 5-2-3)。図1を見るとこの回が授業初期のピークを記録しており, やはり視聴覚教材は学生にとって受け入れやすいものであると言えよう。またカウンセリングの方法を教えたことも評価された(6-2-1, 6-2-2, 6-2-3)。

授業後半では筆者がスクールカウンセラーの経験があるといった有利な点もあるが, 学校現場の経験に基づく不登校や問題行動など実際の事例はやはり学生の興味を引いたようである(4-2-3)。また実演形式で事例を提示したこと(7-2-1, 8-2-4, 9-2-2, 12-2-5, 13-2-2)や学生に事例の対応について考える時間を取り, それを筆者がマイク片手に直接聞いて回ったことも評価されている(7-2-2, 7-2-3, 7-2-4, 9-2-5)。こういった学生が積極的に授業に参加する場面を数多く作ったことが評価されているようである(7-2-5, 12-2-4)。また授業展開がスムーズであったことも評価しているものも見られた(9-2-1, 11-2-1, 11-2-4, 13-2-1)初めは実演形式の事例提示がなじまなかったり, 細かいところで上手くいかず, 質問1の平均得点が一時下がったが, 授業形式が定着してくるにつれ, 得点上がり, 第10, 11回(この2回で一つの事例を取り扱っている)で2回目のピークを迎えている(表1~3, 図1参照)。

最後の14回では後述するが学生の要望に答えて, 教師の対応について現職教員にインタビュー

一した回で質問1の平均得点が3回目のピークを迎え(図1参照),学生も高く評価している(14-2-1, 14-2-2, 14-2-3, 14-2-4, 14-2-5)。

以上のような結果から学生が授業を評価するポイントとして説明の分かりやすさ,視聴覚教材の導入,事例提示をはじめとした具体例,学生参加型の授業が考えられる。

3. 個人差について

次に学生の授業評価で意見が分かれたところを取りあげたい。まず授業初期から学生の間で意見が分かれたのは板書の量であった。第2回で板書を大量に行ったところ,それを評価する者(2-2-1, 2-2-4, 6-3-5)と減らしてほしいという者(2-2-3, 2-3-5)に分かれた。これらの意見を受けて第3回で板書を減らすとそれを評価する形で質問1の平均得点は上がるが(表1~3参照),一方で板書を増やしてほしいとの意見が上がっている(3-2-4, 3-3-4)。その後,授業としては板書を減らし,プリントなどの教材を用いる方向で授業を進めたが板書を増やしてほしいとの要望は常に上がっていた(4-3-1, 4-3-4, 8-3-4)。このように板書の量一つとっても学生の間では意見が分かれる様である。

また,授業のスピードも学生で評価が分かれた。いくつかの回で筆者が予定していた内容をこなせなかった回を除いても,授業のスピードを落としてほしいという者(3-3-4, 8-3-5)ともっと内容を詰め込むべきだという者(10-3-1)で意見が分かれた。このあたりは学生によって意見が分かれるようである。同じことは学生が考える時間の長さでも意見が分かれたり(9-3-1, 10-2-5, 10-3-2, 11-3-4),筆者がマイクを持って意見を聞いて回る(9-3-5, 10-3-4)ことでも見られた。

このような学生の個人差は筆者の方で解消できるものでもないが,授業者として無視できないものであり,今後の課題であろう。

4. 改善点について

「授業評価シート」の質問3に基づいて,筆者が学生の意見を取り入れ改善した点に述べたい。細かい改善点については結果に述べているので,ここでは主なものに絞って述べる。

筆者の授業内容に関して一番要望として多かったのは教師の対応について取りあげてほしいとのことであった(3-3-1, 9-3-6, 11-3-3, 13-3-3, 13-3-6)。これについては筆者も頭を悩ませたがたまたま受講している現職教員に筆者が意見を求めたことが評価され(7-3-4),筆者は教師の対応について現職教員にインタビューすることを思いついた。前述したとおり,この回は学生の評価も高く,学生の要望を上手く取り入れることができたのではないかと考える。

また学生が事例について自分で考える時間を設けたことも学生の要望からによるものであった(3-3-3, 7-3-2, 7-3-6)。これも学生には評価されている。また学生からすると筆者の話し方が早かったり抑揚がないという意見があったので,これもゆっくり余裕を持って喋るよう心がけた(2-3-4, 4-3-3, 4-3-5)。また授業内容にまとめや小見出しをつけていくことも学生の要望により行った(3-3-5, 6-3-2, 9-3-2)。

それから質問にかける時間を取りすぎることによって予定していた授業内容をこなせないことも起こり(5-3-1, 5-3-3, 5-3-5, 6-3-1, 6-3-3, 10-3-3),これに対して事例の感想をプリントにして配ってはどうか(9-3-4)という意見を取り上げたことでこの問題

が一挙に解決した。この感想のプリントは学生同士の意見をフィードバックする効果を生み、評価も高く（10-2-3，10-2-5，11-2-2，13-2-3，L-5-5）授業を大きく活性化したと言えるであろう。

このように学生に意見，アイデアを求め、それを筆者が細かいことであっても取り入れたことによって、学生の授業評価が上がったと考える。

5. 今後の課題

最後に授業内で改善に至らなかった点及び「最終授業評価シート」の結果をもとに今後の授業の課題を考えたい。

まず前述の学生からの要望が多かった教師の対応について、今後はもっと答えていく必要があるであろう。教師のインタビューについても改善点が多いと考える（14-3-1，14-3-3）。このようなことから学生と筆者の温度差を指摘する者も見られた（L-2-4，L-2-5，L-4-5）。

次に授業が単調であると指摘する学生もおり（13-3-4，L-4-1，L-4-6），筆者としてはかなり苦勞したつもりなのだが、まだ改善が必要なようである。ディベートや討論など学生が積極的に参加する場面を増やすことが必要であろう（L-5-1，L-5-6，L-5-7）。

それからあくまで一部の学生であるが遅刻者や授業態度の悪い学生も見られ、これに対する学生側の不満も見られた（2-3-3，12-3-3，14-3-6，L-4-4）。今後は厳しく対応すべき場面も出てくるかもしれない。もちろん学生の興味をもてる授業を行うことが一番の解決法であると筆者は考えている。遅刻に関しては授業が1時限目であることも影響しているようだ（L-4-2）。

また環境の問題も学生の指摘が多かったが、解決しきれない問題であった（11-3-1，11-3-2，12-2-3）。特にマイクトラブルは授業後半毎回のようになり、学生の不満も多かった（4-3-2，7-3-5，12-3-2，13-3-1，L-4-3他多数）。これについては大学事務と何度も調整を行ったが最後まで解決しなかった。大講義室という講義場所で学生参加型の授業を行う場合、これは致命的な欠陥であるといえよう。筆者の努力ではどうにもならないが環境の整備は必要である。

そして「最終授業評価シート」で今後の改善として最も多く上がった意見はこの授業自体をもっと少人数で行いたいというものであった（14-3-2，L-5-2，L-5-4）。この意見は学生の大部分が教師になるためにこの授業が重要であるとの考えを持っていることからきているようである（L-3-1，L-3-2，L-3-3，L-3-4，L-3-6）。筆者自身も同様の考えであるが、筆者のみで行うのは到底不可能である。この「教育相談論」を担当しているのは愛媛大学の教員では筆者一人であり、その意味ではこの授業を担当できる教員の補充が必要ではないだろうか。もっともこれも筆者の努力ではどうにもならない事柄のため、当面はこの要望に答えるのは不可能であろう。

以上のような課題を踏まえ、さらなる授業改善に取り組み、その成果を今後、研究として報告していきたいと筆者は考えている。

相 模 健 人

引 用 文 献

- (1) de Jong, P., Berg, I.K. *Interviewing for Solutions*. Brooks/Cole Publishing Company. 1988. 「解決のための面接技法—ソリューション・フォーカスト・アプローチの手引き—」 玉真慎子・住吉祐子監訳 金剛出版 1998年
- (2) 森俊夫 「ブリーフセラピーのものの見方・考え方」 『学校におけるブリーフセラピー』 宮田敬一編 金剛出版 1998年 pp.27-54.
- (3) 相模健人・田中雄三 「スクールカウンセリングにおけるコラボレーション面接記録法の作成」 家族心理学研究 第14巻第2号 2000年 PP.99-115.
- (4) 佐藤公代・内田伸子 「大学における教授・学習過程と学生の発達過程の関連 —集中講義の授業評価による教授・学習過程の検討—」 愛媛大学教育学部紀要・教育科学編 第47巻第2号 2001年 pp. 1-20.
- (5) 田中雄三・森谷寛之・山下一夫・七條正典・青木真里 「大学院生による『生徒指導及び教育相談に関する科目』の授業評価」 鳴門教育大学研究紀要 第12巻 1997年 pp.125-139.
- (6) 山下一夫・徳永悦郎・藤枝博 「大学の授業としての『心の教育実践論』 —学生による授業評価と、授業内容・方法の検討—」 教科教育学研究 第19集 2001年 pp.135-154.

資料1 授業評価シート

授業評価シート

授業日 月 日
 授業名 ()
 所属 () () 回生
 学籍番号 ()
 氏名 ()

質問1: 今日の授業は1を「わからない」、10を「わかりやすい」とするといくつでしたか? 数字で答えてください。

解答欄 ()

質問2: 今日の授業はどんなところがよかったから、質問1の答えの数になつたと思いますか?

解答欄

質問3: 来週の授業で少しよくなって、質問1の答えより1上がったとしたらどんな授業になっていると思いますか?

解答欄

できるだけ具体的、現実的に書いてください。
 その他、今日の授業について分らないところ、質問がありましたら書いてください。

資料2 最終授業評価シート

最終授業評価シート

授業名 ()
 所属・学科 () () (できるだけ詳細に)
 学籍番号 ()
 学年 () 回生
 氏名 ()

質問1 この授業全体を1を「分かりにくい、難しかった」、10を「分かりやすい、理解できた」とするといくつになるでしょうか?

質問2 質問1の答えになった理由をお書きください (賛否含めます)

質問3 あなたが同級生、後輩にこの授業を薦めるとしたらどんなことを言って薦めますか?

質問4 あなたが同級生、後輩にこの授業を薦めないとしたらどんなことを言って薦めませんか?

質問5 あなたが相模だったとして、この授業を学生にとつて今よりも必要な授業とするためにどんなことを具体的にしますか? できるだけだけたくさんお書きください。

その他、ご意見、ご感想を自由にお書きください。

ありがとうございました